

日本共産党 阪南地区だより

「しんぶん赤旗」読者だより

第68号

2002年11月

発行

日本共産党
阪南地区委員会

岸和田市土生町4022

TEL 0724-37-8411

FAX 0724-37-8414

Eメール

info@jcp-hannan.net

http://www.jcp-hannan.net



有事法制 ストップ

日本をアメリカの 戦争に巻き込む



有事法制の危険性を考える
学習会もいち早く開催

「有事法制反対」泉南連絡会が ピースメッセージ・宣伝・学習会など

開かれている臨時国会で小泉内閣と自・公勢力は、有事法制の強行を策して急ピッチの動きを強めています。

泉南市では、こうした危険な動きに抗して、有事立法の阻止めざし今年夏前から、宣伝・署名・ピースメッセージなどに取り組んできました。とくに、「有事法制に反対する3000人ピースメッセージ」運動は、幅広い方々に呼びかける中で10月末には440人を超える方から賛同の声が寄せられています。賛同者からの「私の一言」では、

「おはよう、今日も一日が始まった。家族がいて、自分がいる。そして、毎朝、皆起きてくるのが楽しい。平和ってこういう事なのかなって思う。戦争する国なんて、とんでもない。有事法制は、断じて許せません。私たちのささやかな平和を守って！」と書いて寄せてくれています。10月24日には、「改

活発に活動展開中

めて有事法制の危険性を考える」と題して阪南合同法律事務所の中野みどり弁護士を講師に学習会が開かれ、意見交換をいたしました。「市議会で公明党が意見書に対して激しく攻撃したこと」「戦争する国づくりの財源確保のため、大増税が進められている」等々が出し合われ、必ず阻止するために、宣伝・署名などの行動を強めること、ピースメッセージの取り組みをさらに多くの方に広げることなど確認し合い、学習会を力に、「会」として宣伝カーを連日走らせるなど、取り組みが強められています。



▲ピースメッセージの運動には440名を超えて賛同が寄せられました。

“暮らし支えて、経済再建を、の提案に

「このままでは廃業も」と深刻さます繊維業界の実態

泉大津の繊維業者と 宮本たけし参議院議員が

四つの緊急要求で「ん談

日本共産党の宮本たけし参議院議員は、10月26日、泉大津市の繊維関係会社を訪ね、同党の「深刻な経済危機から国民の暮らしを守るための4つの緊急要求」をもとに懇談しました。これには堀よし子、中口あきつ、小林修平の各泉大津市議も参加しました。

これまでに関西経済連合会はじめ経済団体と対話を重ねている宮本議員は、大阪商工会議所で外形標準課税の導入反対で意見が一致したことも紹介しながら、「4つの緊急要求」の内容を説明。

前山工業株式会社（織物原料）の前山作二郎会長（泉大津商工会議所常議員）は、早くから自由化の波にさらされてきた繊維業界の中で経営努力を続けてきたことにふれながら、国民生活を支えてこそ経済再建ができるとの日本共産党の立場について「デマンド（需要）が大事というのは、おっしゃるとおり」とのべました。



前山工業の前山会長（左から2人目）と懇談する宮本参議院議員（同3人目）ら。10月26日、泉大津市内。

別の毛布業者は、不況の影響や中国からの輸入品の激増で「他社が廃業しても、こちらに仕事は回ってこないし、原価より下で売っている状況。去年が谷底だと思っただが、今年はさらに穴を掘っているよう。このままではうちも廃業だ」と苦境を訴えました。

市町村合併は『住民合意』が大前提！

泉南「明るい会」が合併問題で学習会ひらく

阪南地域で合併への動きがもつとも活発な泉南、阪南、岬の2市1町は、昨年5月に立ち上げた「泉州広域行政研究会」をさる8月、泉佐野市、田尻を加えた3市2町に拡大し、来年の6月には合併協議会を設立させるために、来年2月までに合併のための協定原案を策定しようとしている。住民不在ですすめられているこのような動きに、「公正・清潔・明るい革新泉南市政をつくる会（明るい会）」では、11月6日（水）、あいびあ泉南で「市町村合併」学習会をひらきました。

河南地域（富田林、河南太子、千早赤阪）で合併を白紙撤回させた「富田林合併とまちづくりを考える会」世話人の奥宮直樹さんから「平成の大合併」の問題点と「住民自治の発揮で撤回させた合併強行ー富田林からのレポート」のテーマで講演していただきました。泉南市を中心に42人が参加しました。市民が合併を知ってからわ

ずか2ヶ月後には合併協議会が立ち上がったという状況の中で、反対から出発せず、「なぜ知らせない」「なぜ急ぐ」と市民の幅広い疑問を取り上げ運動を組織していった教訓的な話に参加者は一様にうなずきながら聞き入りました。

このあと、和氣市議から泉南地域の合併の動きと問題点について報告がありました。最後に、「明るい会」庄司節男副代表から「合併のねらいとこれを打ち破った富田林の教訓に学んでがんばろう」と「閉会のあいさつ。学習会は終了しました。



「クイズ赤恥・青恥」出演で子どもさんにしかられた話

宮本たけし参議院議員のメールマガジンから紹介

10月30日のメールマガジンに、25日放送のテレビ番組、「クイズ赤恥・青恥」を見た宮本議員の子どもさんから、翌日早速怒りの電話があったそうです。それをメル・マガで紹介しています。

その内容は「お父さん！俺、明日から学校行かれへんやんか」「俺テレビを見たけどなムチャクチャ恥づかしかったで」。宮本議員「あれはチョットぐらい間違えた方がおもしろいやないか」、子どもさん「2問全部間違えてたやないか」「クラスのみんなに、お父さん出るから見てやってうてたんやで」とのこと。

宮本議員は、「あれは、間違えたとこだけを番組で流しただけや」と言い訳したとのこと。一宮本たけし議員親子のほほえましいひとこまです。

日本共産党 演説会

日本経済と国民のくらしをいかに守るのか
不良債権処理・日朝・拉致問題、イラク攻撃
—— 日本共産党の値打ちと政策を語ります。

- ◎ 貝塚市 11月16日 (土) 午後7時～
貝塚福祉センター
 - ◎ 泉南市 11月17日 (日) 午後2時～
アイピア泉南 大会議室
 - ◎ 阪南市 11月17日 (日) 午後7時30分～
サラダ 小ホール
 - ◎ 岸和田市 11月21日 (木) 午後7時～
マドカホール (岸和田市立文化会館)
- さそいあってご参加を

6ヶ月後に迫ったいっせい地方選挙 4名全員当選めざし

泉大津 10月26日 演説会に180名

泉大津の党と後援会は、10月26日夜、戎小学校で日本共産党演説会を開き、読者・支持者・党員ら180名余が参加し、この時期の演説会としては比較的天くさんの方々が参加してくれました。

演説会は、最初に地元助松町で開業されている医師の岩崎正さんが話され、続いて4人の来年いっせい選挙の後半戦・市議選をたたかう4人の候補者からそれぞれの立場からの決意と訴えがありました。宮本議員は、小泉内閣の二つの暴走と日本共産党の値打ちについて詳しく説明し、日朝問題解決で果たした役割についても話され、いっせい選挙勝利への決意を固めました。

